

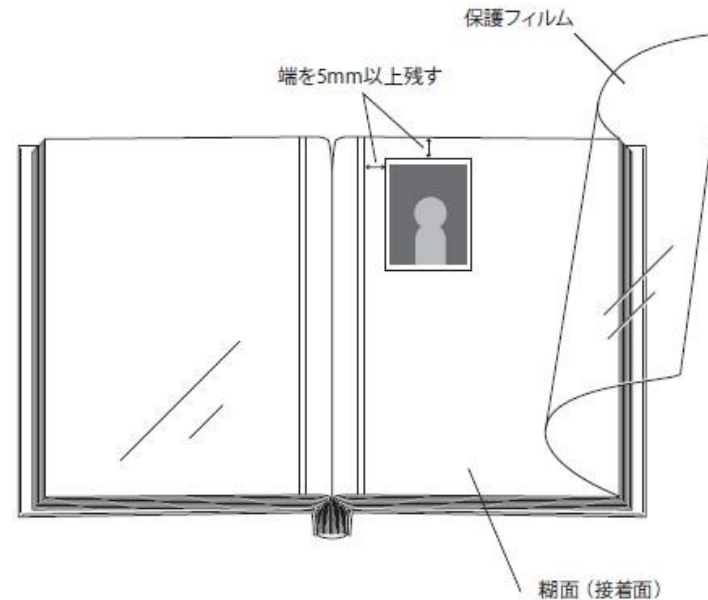
クラフト表紙 増やせるフリー台紙アルバム用 リフィール・フリー台紙取扱説明書 (A4サイズ)

■台紙のご使用方法

- ・保護フィルムを手前からいねいにめくってください。
- ・写真をレイアウトするときは台紙の上下・両端を5mm以上あけて貼ってください。
写真をあまり多く並べると、保護フィルムの接着力が不足しますのでご注意ください。
- ・タイトルカードなど、すべてレイアウトができれば、台紙を端から押さえながら空気を押し出すようにして、静かに保護フィルムを戻します。
- ・台紙とフィルムの間に空気が入った場合は、布などでフィルムの上から糊線に沿ってなでるとキレイに仕上がります。

■取扱い上のご注意

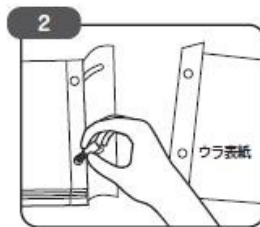
- ・台紙の糊面を手などで汚さないようにしてください。接着力が低下することがあります。
- ・アルバム・台紙の保存は、直射日光のあたる場所や高温多湿になる場所を避けてください。
- ・台紙に貼る写真（印刷紙・プリンタ出力紙）は、よく乾燥させてから台紙に貼ってください。
- ・切手など、裏に糊加工のしてあるものの整理には、ご使用にならないでください。
- ・今までお使いの台紙から写真を貼り替える際に、写真が台紙からはがれないときは、ドライヤーの温風で写真の表面を全体的に約3分ほど温めてから、冷風で冷ますと、写真の端が浮きあがってきます。浮きあがった端をつまんで、ゆっくりとはがしてください。
- ・ビスは誤飲や窒息の恐れがあり危険ですので、お子様の手の届かないところに保管してください。



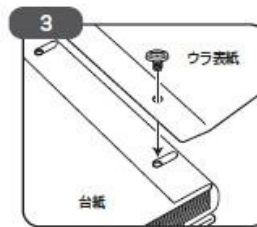
■増やせるアルバムの台紙の増減の仕方



ウラ表紙側にある押さえビスを、コインまたはドライヤーで回し、ウラ表紙をはずします。
※ビスが空回りする場合は、反対側のビスをコインまたはドライヤーで押さえてください。



背カバーをめくり、台紙を増減します。ビスの長さが足りなくなった場合は、付属のジョイントビスでビスの長さを調節します。



台紙をセットしたあとは、台紙の穴に背カバーとウラ表紙の穴をあわせて、押さえビスと一緒に留めてください。
※背カバーは、たるまないように調整してください。

■ご注意

- ・台紙を増減するときは、必ずウラ表紙の押さえビスの方からあげてください。オモテ表紙の本体ビスからあげると、回転防止用の角穴が壊れて効果がなくなるのでご注意ください。
- ・ビスが空回りする場合は、本体ビスの頭部を押さえながら、押さえビスを回してください。
- ・台紙の枚数は、最初からセットされている枚数を含めて、20枚を上限としてください。それ以上増やしますと、アルバムの見開きが悪くなったり、壊れたりする可能性があります。

